

編輯部報情閣内

報週真寫

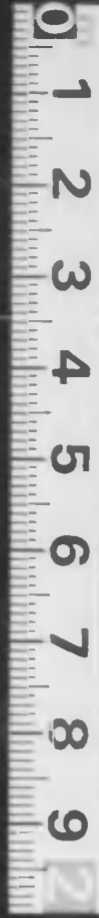
ンセ十 號日五十二月五

昭和十三年十二月五日 號五十二月五年十三年十國民華中 (東京) 第十五號



海軍記念號

原口



日露海戦



聯合艦隊旗艦三笠



聯合艦隊司令長官
東郷平八郎大將

敵太平洋艦隊の提督地蔵原を閉塞して敵艦隊を港内に押し込めてしまふといふことはやがて達成して来るに相違ないバルチック艦隊をむかへ撃つために敵に必要なる作戦であつた。

閉塞といふのは夜陰に乘じ、敵の弾雨を冒して運送船を放逐し、口を沈めて敵艦の出入を妨げようとする敵前決死の作戦である。

下は第三團閉塞の壯舉に参加する大隈艦隊水雷艇に乗り本艦を出発せんとする「朝日」号の勇士十二名、船に沈む者も居らぬは、忠壯の念に胸ふるはせた。



事變下に海軍記念日を迎へて
海軍省海軍軍務及部

事變下に海軍記念日を迎へて
海軍省海軍軍務及部

皇國の興衰を此一戦に懸して我輩海軍が奮闘一バルチック艦隊を港内に押し込めてしまふといふことはやがて達成して来るに相違ないバルチック艦隊をむかへ撃つために敵に必要なる作戦であつた。

閉塞といふのは夜陰に乘じ、敵の弾雨を冒して運送船を放逐し、口を沈めて敵艦の出入を妨げようとする敵前決死の作戦である。

下は第三團閉塞の壯舉に参加する大隈艦隊水雷艇に乗り本艦を出発せんとする「朝日」号の勇士十二名、船に沈む者も居らぬは、忠壯の念に胸ふるはせた。

皇國の興衰を此一戦に懸して我輩海軍が奮闘一バルチック艦隊を港内に押し込めてしまふといふことはやがて達成して来るに相違ないバルチック艦隊をむかへ撃つために敵に必要なる作戦であつた。

閉塞といふのは夜陰に乘じ、敵の弾雨を冒して運送船を放逐し、口を沈めて敵艦の出入を妨げようとする敵前決死の作戦である。

下は第三團閉塞の壯舉に参加する大隈艦隊水雷艇に乗り本艦を出発せんとする「朝日」号の勇士十二名、船に沈む者も居らぬは、忠壯の念に胸ふるはせた。

胃は

：燃料と
ノルモの
要る内臓
の汽嚙だ



胃酸過多
胸やけに
胃痛に

ルモザン錠

武田製薬品



これから
胃酸過多が頻る
食後の胸やけ、嘔気、生水
空腹時の胃痛、に御注意

この様な胃酸過多の症状に對し、
胃酸を中和して一時的に症状
を抑へる薬では到底根本的の治
療効果は得られません。

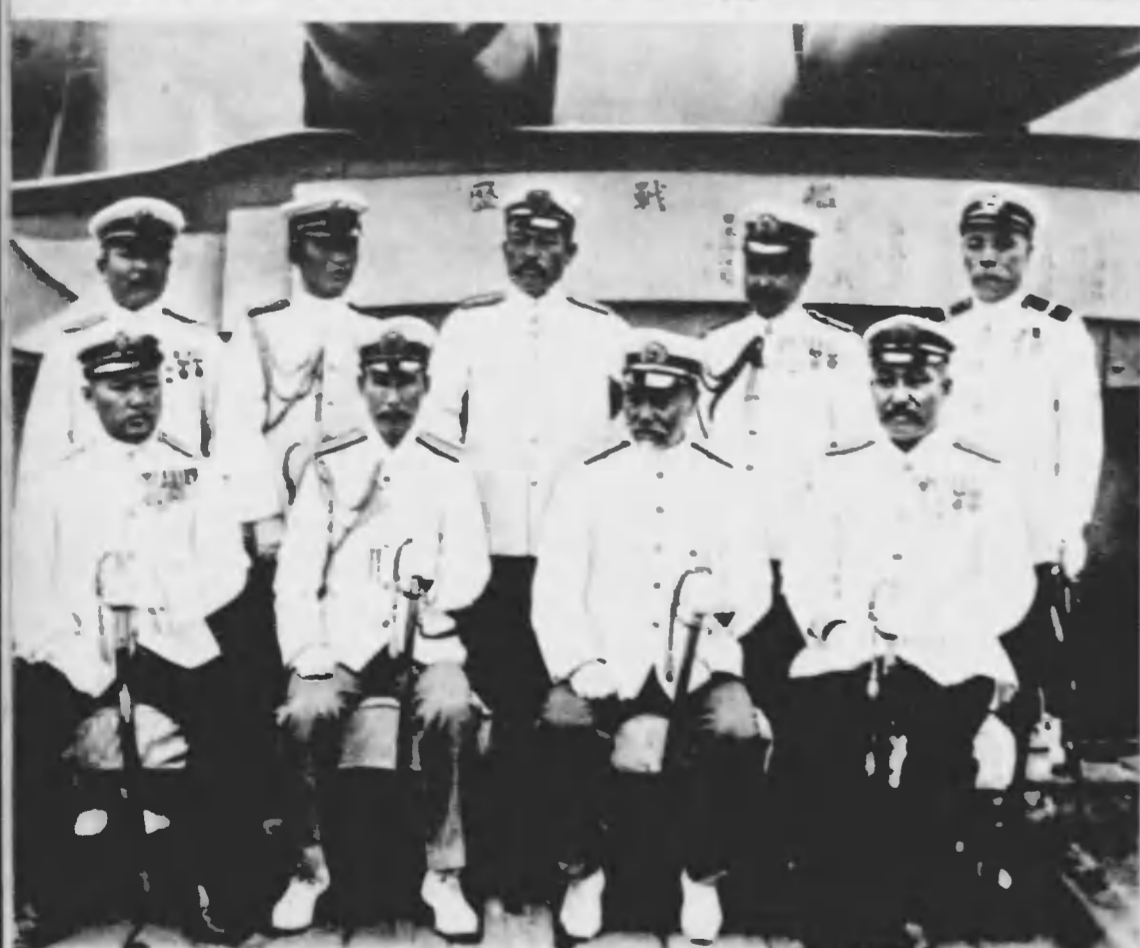
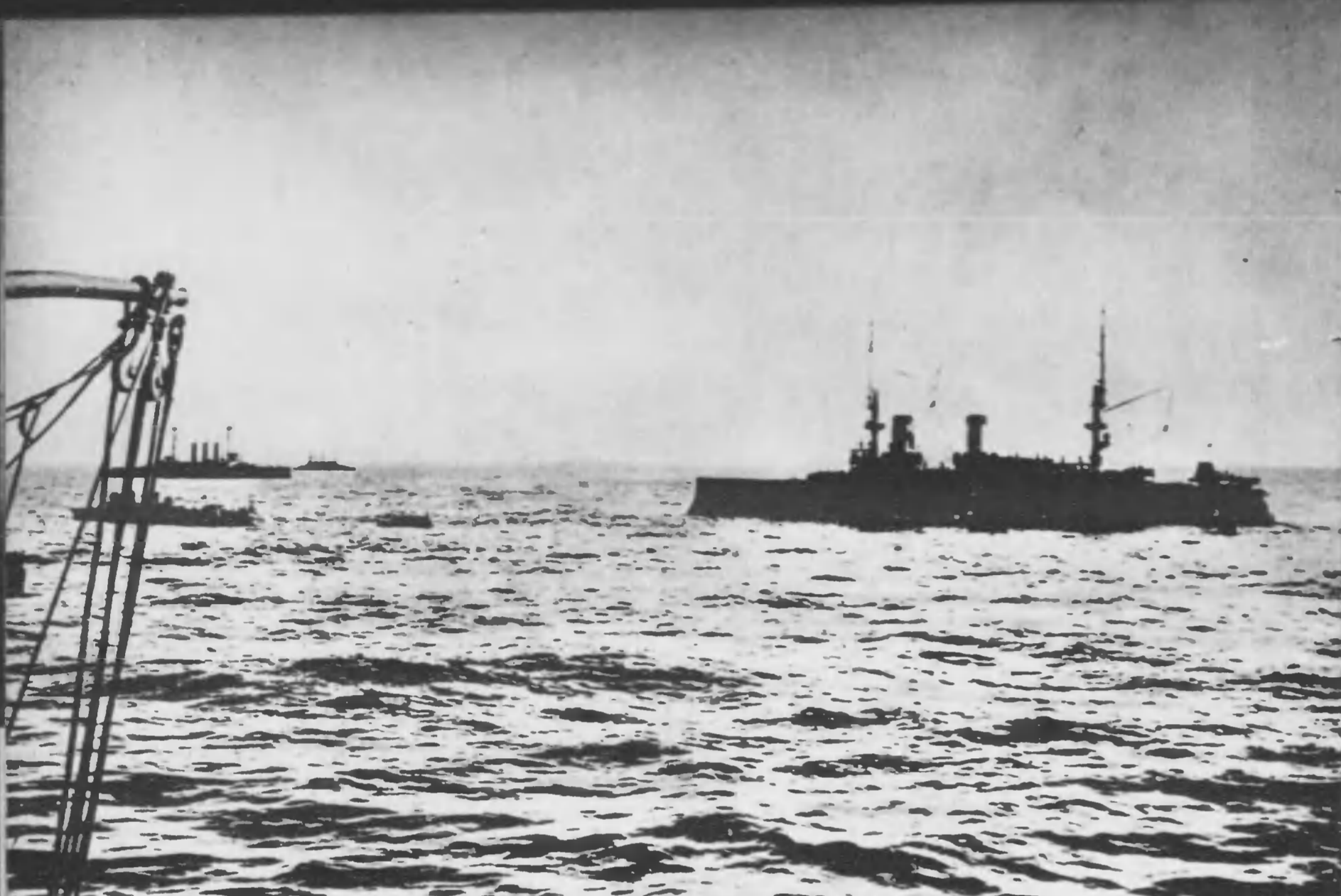
胃酸分泌の抑制が肝要
即ち胃酸過多の治療にはその病根
たるたかまつた胃酸分泌の抑制が
第一とされます。

錠剤アルミニウムを主成分とする
最新の治療薬ルモザン錠は肝胃
な右の作用を兼ね、胃腸の保護
胃腸の吸収作用をも養んで、優美
な治療効果を奏します。

効能 胃酸過多、胃潰瘍、胸やけ
嘔気、生水、溜飲、心臓痛、胃
痛、胃力乏、胃腸痛、便秘、尋
常性、急性、慢性、車酔い。

用法 (一回二錠) (四分三〇分) (一日分二錠) (一日分二錠)
(二日分二錠) (一日分二錠)
(一日分二錠) (一日分二錠)

發賣元 武田製薬社長事務所
大阪市東區東區
小野町二丁目



↑ 三笠艦上の東郷聯合艦隊司令長官及び幕僚
前列右から鈴木重道軍醫
總監(少將)、東郷大將、加藤友三郎少將、山本安次郎
機隊總監(少將)
後列右二目から飯田久
恒少佐、伊知地次郎大佐
(三笠艦長)、清河純一大尉
永田泰次郎中佐(副官)

日本海海戦大勝利の報外
皇國の興隆をかけた大海
戦の勝利の報は勇ましい號
外の鈴の音と共に全国津々
浦々に響き渡り、歡呼の嵐
に迎へられた。
銃後の國民がこの勝報に
どんなに喜びを感じたこと
か、當時を知る人々の言葉
にはなほ生々しい記憶が蘇
へることだらう。

五月二十八日午
後一時、敵はつひ
に決した。敵の旗
艦「ニコライ一世」
は我に降伏し、ネ
ボゴトフ司令官は
八名の幕僚と共に
わか水雷艇「達」
に移乗し、「三笠」
に收容された。
右に大きく見え
るは「ニコライ一
世」左の二本煙突
の艦は一等戦艦
「敷島」、連方のは
同じく一等戦艦
「淺間」
一朝日一から撮影

時事新報
對馬沖海戰大勝利
敵艦全滅大快報

五月二十八日午後一時、敵はつひに決した。敵の旗艦「ニコライ一世」は我に降伏し、ネボゴトフ司令官は八名の幕僚と共にわか水雷艇「達」に移乗し、「三笠」に收容された。右に大きく見えるは「ニコライ一世」左の二本煙突の艦は一等戦艦「敷島」、連方のは同じく一等戦艦「淺間」。



明治三十八年五月二十七日午
前五時
敵艦隊二〇三地點に見ゆ、敵は東水道に向ふもの無し。南方哨艦偵察丸からの無電はわが聯合艦隊の全神を極度に緊張せしめ、東郷司令官は「敵艦見ゆとの警報に接し、聯合艦隊は直ちに出發、これを撃滅せんとす、本日天気晴則れども波高し」の第一報を大本營に送り、全艦隊は勇躍根拠地を出發、對馬海峡に向つた。

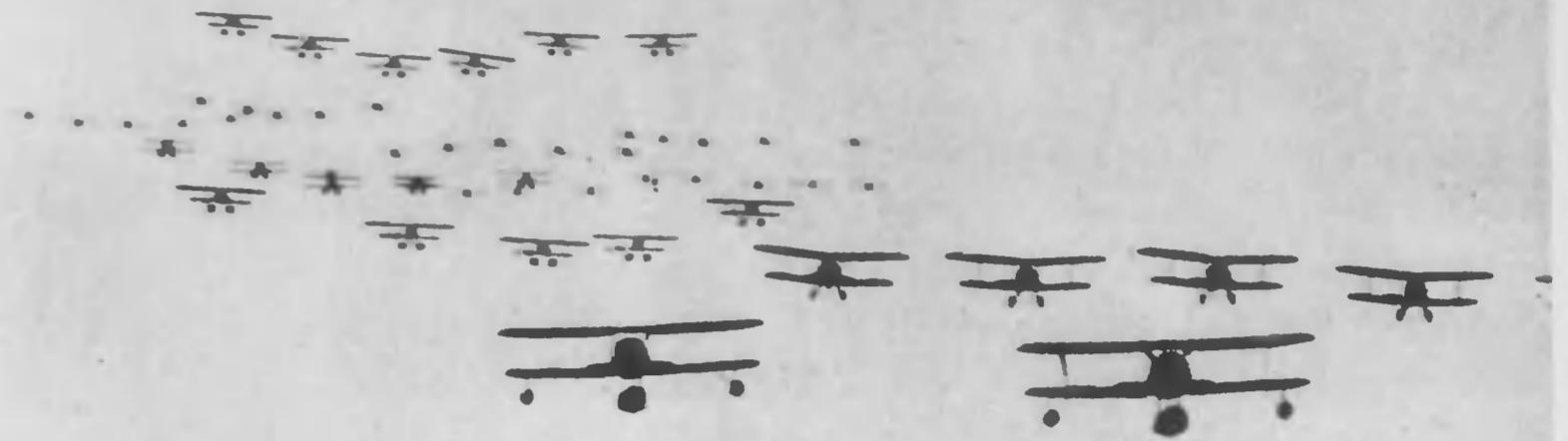
EXTRA!
The Bulletin.
TOGO SINKS TEN SLAV
SHIPS, CAPTURES FIVE

降伏した敵の旗艦「ニコライ一世」は位置が艦列の後方であつたため比較的わが集中弾を受けなかつたが、それでも左舷側には約十個の大穴があけられてゐた。
日本海海戦の戦果
敵艦八隻(二隻沈没、二隻擱淺、二隻中立國進入後武装解除) 三隻中立國進入後武装解除
海防艦三隻(二隻擱淺、一隻沈没) 驅逐艦九隻(四隻沈没、一隻擱淺、三隻逃走、一隻不明) 雷艇四隻(一隻沈没、三隻逃走) 特務艦六隻(四隻沈没、二隻逃走) 病院船二隻擱淺
明治三十八年五月二十九日發行
桑港「ブレン」紙の日本海海戦號外
東郷提督艦隊十隻を撃沈、五隻を擱淺す



きたば羽の鷺若

隊空航軍海浦ケ霞く塵を技死決



英領土に下東、組たるアスファルトのドライウェイを、とふりそく五月の陽を浴び目撃する。こと十五分、大々かすむ、浦を空に、艦ヶ浦海軍航空隊が目の前に現はれる。入口にある本部の、赤い瓦葺いヤンと、並んだ自動車、旗くつ一つ落ちてゐない。場、暗闇に寄り込まれた機木にも、明るい旗一が掲げられる。今、艦ヶ浦には昨日の密航の防衛第一線に立つべく、多くの若い飛行員が飛行機を操りて、空を舞つてゐる。



兵舎から飛行機まで、二キロメートル、全員かけ足で、エツサーのかけ聲で九三式中型練習機は一斉に格納庫から引き出される。起動車がプロペラを勢よく回さる、カストル油のほひを流してエンジンのはびを、だんだん高く大きく、数十分、この間、プロペラの調子よしの草はなび伏し、地上上整備員も足に力を込めて踏んばつてゐる。これは吹き飛ばされそう、プロペラは水平にビタリと止る。轟音の飛行機は、忽ち音のないうちに、五月の爽やかな朝風の流れてゐるのにはじめて気がつく。午前七時、イワン雲が飛び、かげろもえ、たつ練の飛行機一隊、出発前の飛行機長一隊、離陸した若衆たちの飛行機は、朝陽に映えてキラキラと光る。

茶の飛行機、青い落下傘を腰につけ、二空、二番機、同乗、出発！ 力強い聲と拳の音。数分後にはもう、山崎のやうに、五月の蒼穹をきつて、グン／＼と高度を上げて行く。若衆の地上指揮官の親心。二十機、三十機、若い翼は次々と飛び立、未来の空を舞つてゐる。

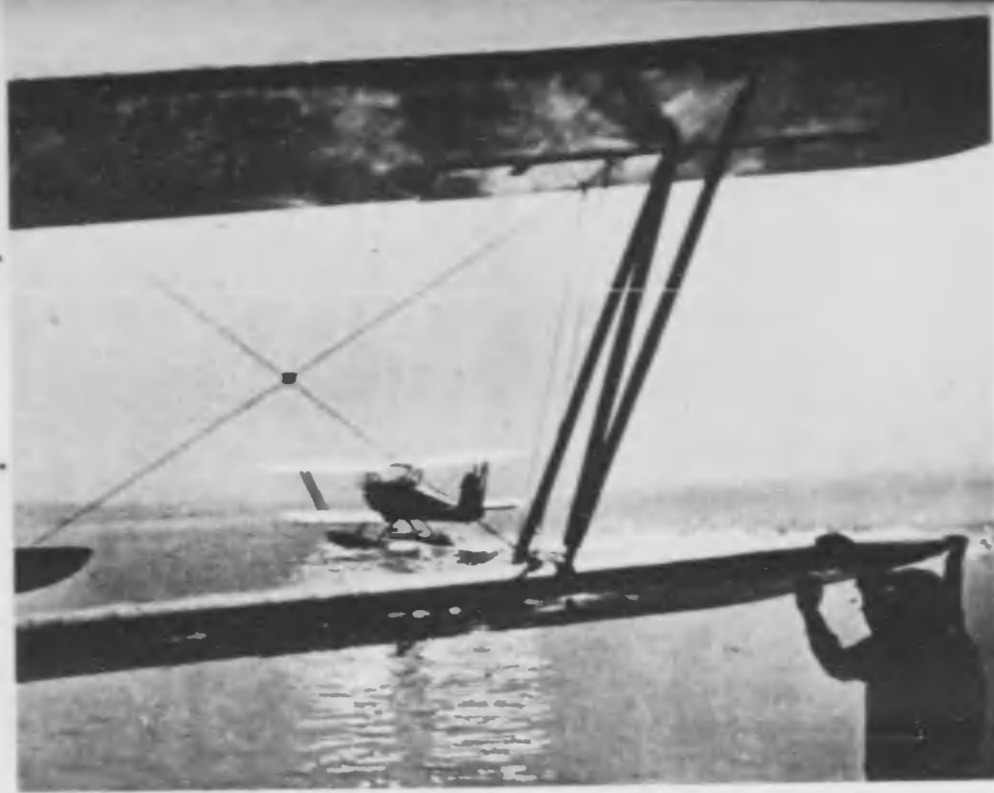




↑ おい、二百メートル下でも水上練習機の鮮やかな模様だ、その影も湖上をなめらかに滑つてゐる！ 緑の森と田圃の畝、空から見る日本は何と美しい國だらう。

◇ 初夏の霞ヶ浦、天地もわが身も共に明るく力あり！ 大きく果立つて海の子、空の子！ その顔は赤銅色に灼け、潤し、ききに白さびた海軍帽の飛行長は、「飛行機はいくらでも作れるさ、要は人材の養成にある、優秀な人間をつくり出さうと霞ヶ浦の苦勞は大きいなゾ」と晴しさに話してくれた。

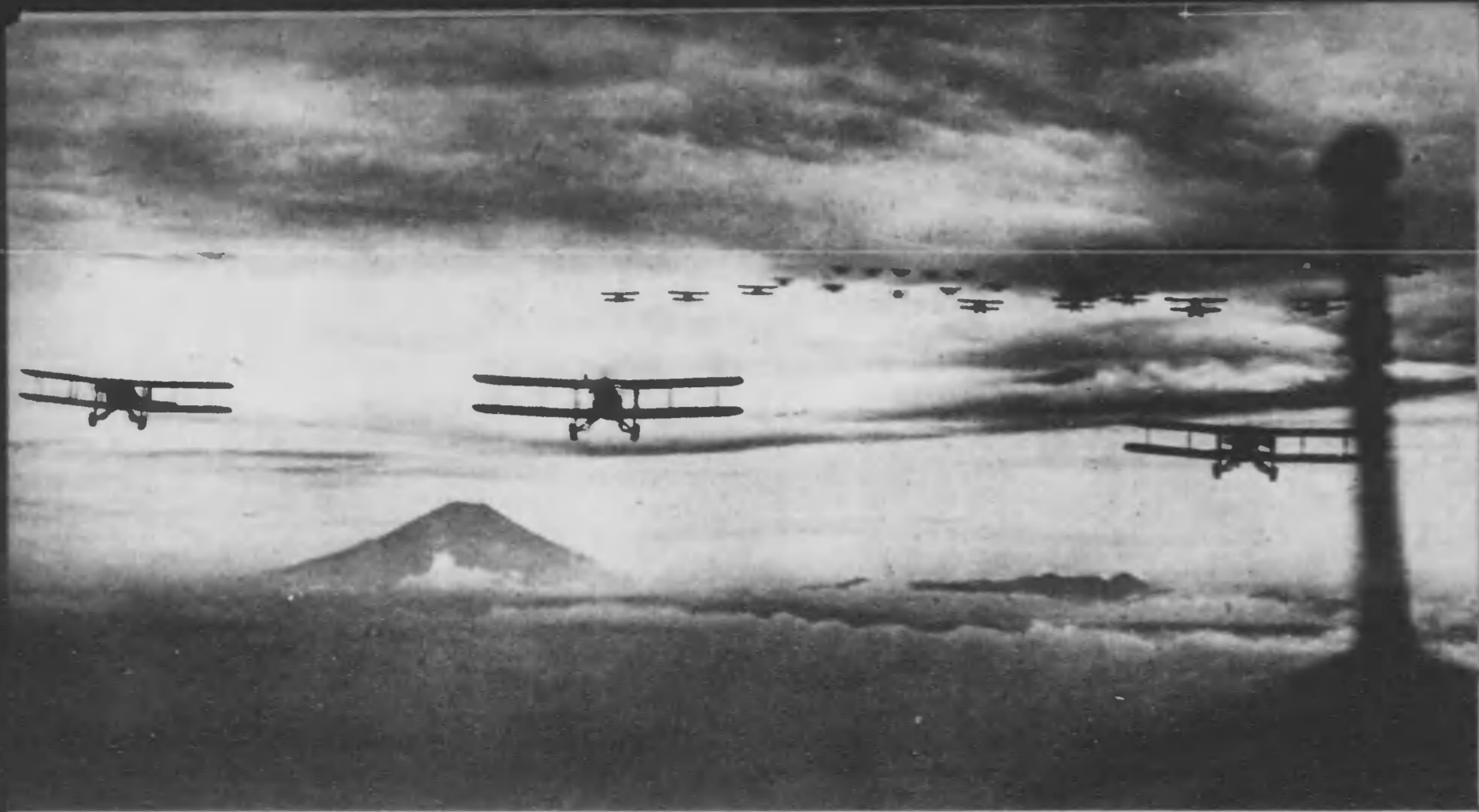
◇ 「いいか、今左旋回をしようとする」 午後學課の「とき、入隊間もなく、教官はまづ模型によつて「空のお作法」を教へ込む。



↑ 七時三十分、ニア、いよいよ飛行開始だ。「離水」一水平飛行、筑波山、丘陵一傳聲管から流れる教官の聲に操縦桿をクツとにぎる。ホツとして見送る地上整備員の防水靴を碧い水がザブリと洗ふ。

◇ 霞ヶ浦海軍航空隊水上練習機も快晴、ちきれ雲が飛んでゐる。格納庫から牽引車でひき出された練習機は今、豪壯な爆音でエンジン調整の真最中。地上整備員の慣れた手は五官をまつめて傳はる響きに異状のないのを確かめる、真剣なひととき





□ 陸軍演習、大空に描いた白煙の妙技。



□ 一機、又一機、編隊を解いた戦闘機は、餌物を狙ふ猛鷲の如く、疾風、攻撃機へ殺到してくる。火を吐く旋回機は、白光きらめく曳光弾、天空高く激流は時ならぬ渦を巻いて激戦しながら壮烈な遭遇戦の幕は切つて落された。

□ 右翼隊危し、二番機、三番機われに続け、とむらがる敵機のまつただ中に飛びこんで激戦、単機戦のねらひ撃ち！機銃座まもるは、隊随一の射撃の名手！

□ 雲海を破つて富士が見える紫色だ、目の下はうねりと流れる大利根、鏡のやうな霞ヶ浦。



航空機が飛来した瞬間、機銃の火を浴びた。機銃の弾丸が機体の各部に命中し、機体は激しく揺れた。機銃の火は、機体の周囲に火花を散らし、機体の周囲に煙を立ち上らせた。機銃の火は、機体の周囲に火花を散らし、機体の周囲に煙を立ち上らせた。



精悍！わが陸戦隊

横須賀海軍
砲術学校の演習

日本海軍の、敵地を洗ふ頭となり又陸軍の先頭として、臺灣の如く陸上へ進軍する海軍の精悍！陸戦隊。真兵よく敵艦の大軍を文へ、榮光輝然と輝く上海戦史を綴つた、われ等の陸戦隊は、今又、社稷の存亡を懸けて、南洋支那の雄略を開拓しつゝある。偉なる哉、陸戦隊、その野戦なる英姿を、今國內に演習する先武者の演習精神に思はす。

全軍の「戦ふ感情」を此の一息にこめて、亮々と喇叭を吹けば、高鳴る海の魂は、いざ上陸戦ぞ、と肉弾又肉弾の火蓋を切る。歩武堂々、陸戦隊水兵の踏み鳴らす軍靴は、世界にとゞろく日本の進軍踏た。颯爽とよる手、赤銅色の顔その一つ一つに溢れる、若き日本の逞しさよ！



〆 敵を敵を引寄せ、一掃殲滅の時を候、重機銃の無気味な沈黙。カムフラージュの杖葉の中から驚くやうに光る眼の鋭さ。

〆 陸軍の戦友よ、わか屍越えて進め、と鐵條網破壊の決死行。開いた突撃路は、そのまゝ、東洋平和の道となる。皆、その日の覺悟を無心の顔に隠して、今は黙々と演習の鉄を操る。

〆 敵は幾度もありとて此の野陣を守るは精銳陸戦隊。一尺掘つて、既にトーチカとなり、二尺掘つて、難攻不落の城砦となる！



〆 喰るは、大和魂。吐くは、霹靂の火箭。一騎當千の此の機銃、大陸に渡る日は何日？

〆 窮々と變化する演習戦況を送れば、喉に泛ぶ砲門機銃。受話器握る手に、話す聲に、力が入る。力が入る。



瓦斯マスクの装着は一刻を争ふ。「瓦斯！」「瓦斯！」戦友に危急を告げて、素早くマスクを着ける。
 惨憺な人道の敵は海の彼方、来るべき戦場の憤怒をこめて、演習も實戦死ら

突撃！
 此の機敏、雄略を播るがす鉄壁を破し、此の氣魄、不撓のトチカを奪取した。並ぶ精神な顔もちつと見てみると過ぐる吳淞附近の敵前上陸の際に挺身陸軍に先立つて登岸、頭部を掃蕩して陸軍の揚陸を成功せしめた竹下決死白澤隊の死闘記が新たな感涙を以て蘇へてくる。



上海戦線の八月二十七日、血塗られたついでに戦死を遂げた瀾洲水兵の物語は、未だ我々の耳に生々しい。「仇は此の眼で！」と、戦友の甲合戦を誓ふ若き海兵の眼は、既に百戦百中。



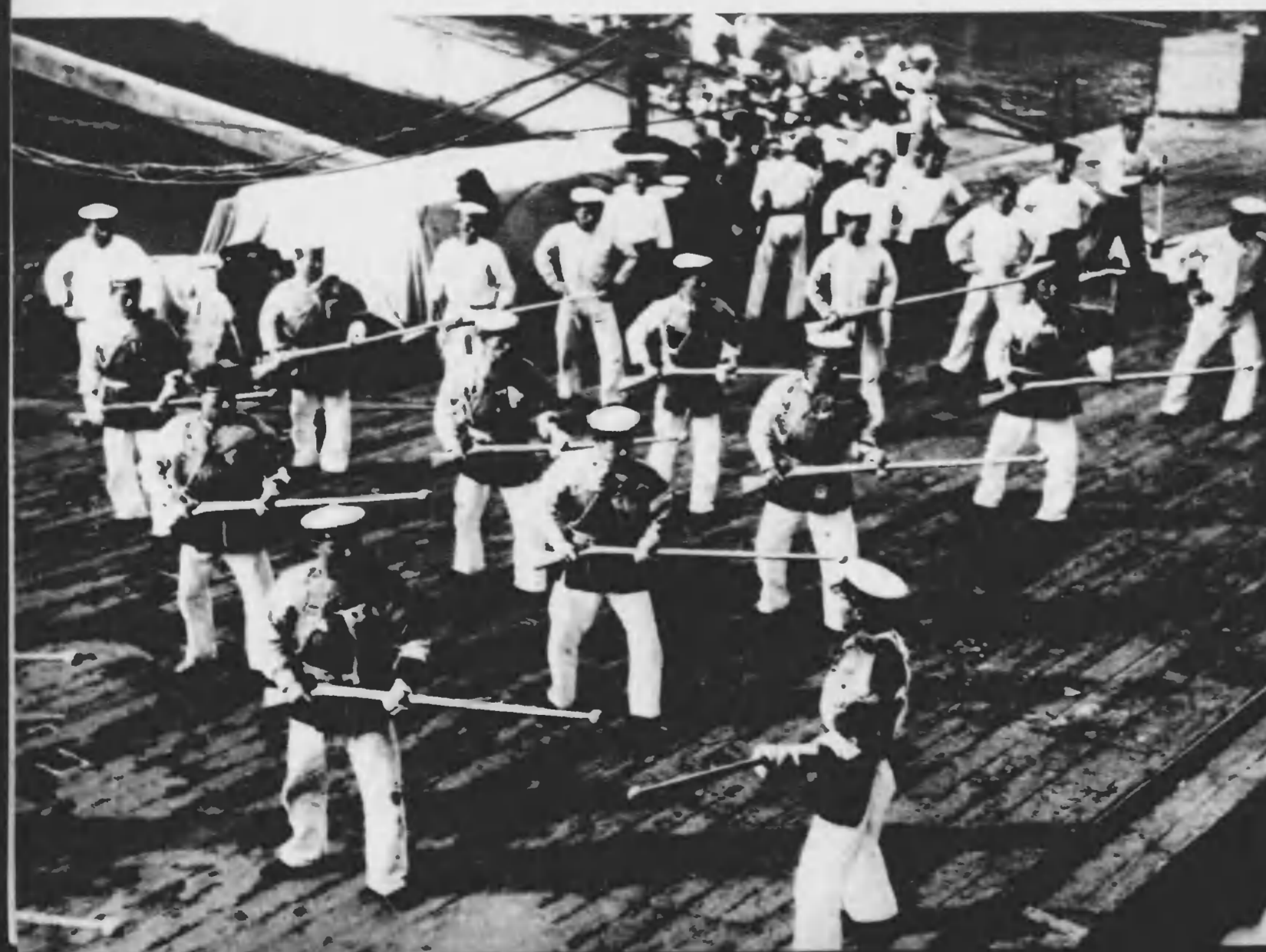
防いで鐵壁、攻めて無敵、血湧き内陣る白兵戦寸前の壯観。





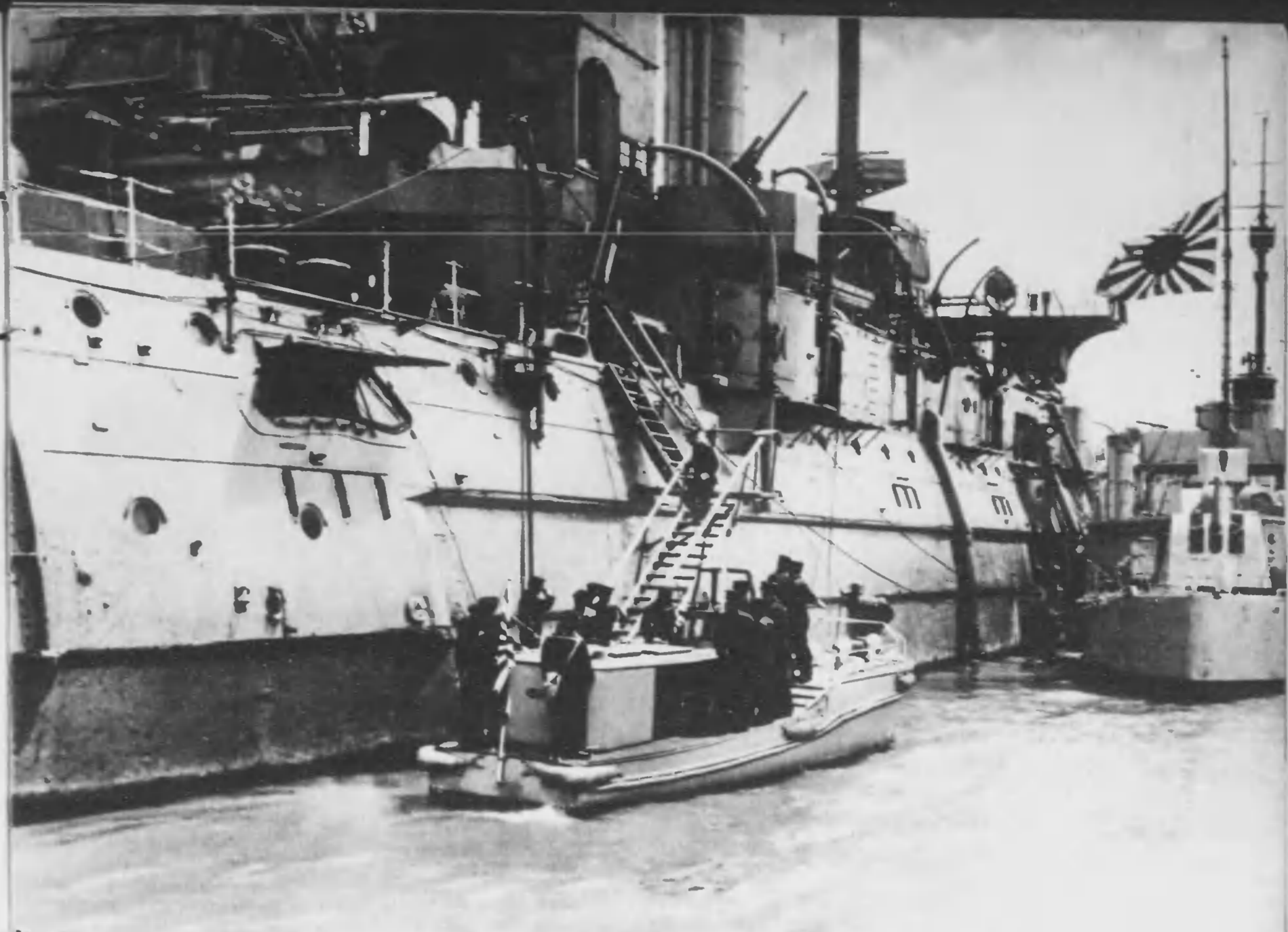
新司令長官
を迎へた
出雲

武人の魂武器の手入れ、武装の構へ、ベルグマン機銃を手に一去年の夏は、こいつを陸らせて浦東と渡りあつたなあ、早いもんだ、もう一年が来る」と銃の油の香にあの頃の激戦、楽しかつた緊張を思ひ出す。



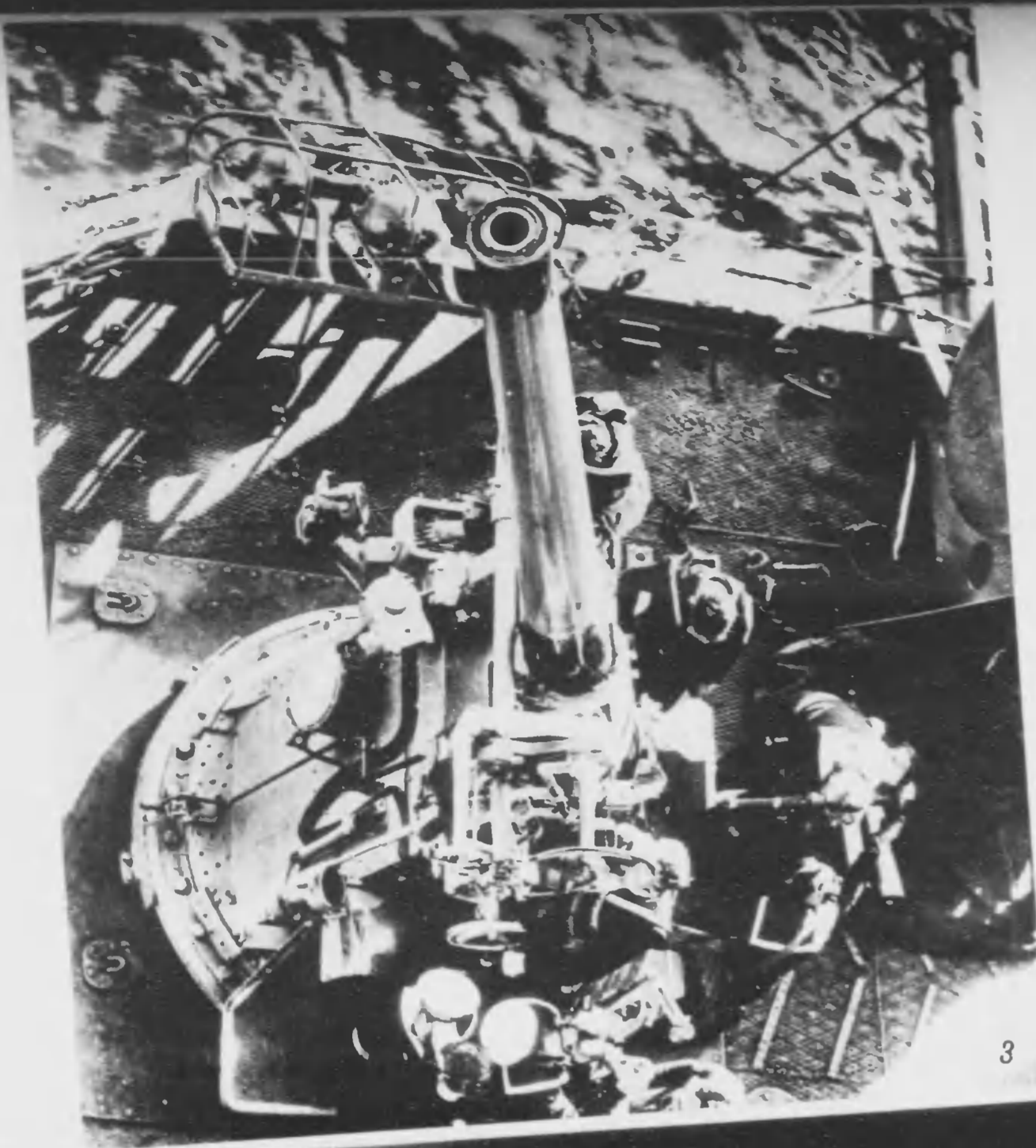
本誌を手に、ゆつたりと初夏の微風に、降りそそぐ江上の陽に、及川新司令長官はどつかと構へて「なあに、ちよとそそつとで動くもつか、帝國の方針はいつも變りなくまさに不動ちや」とまさに動かうともしない。

「エイ、オー」虹口碼頭の雄叫びは出雲の艦側にこだまして江上を燃す。大和男の子の意気高く、「出雲」は新司令長官を迎へてます。壯。



黄浦江上に輝く武備の巨艦を構へて、わが第三艦隊旗艦「出雲」は初夏と共に新司令長官及川志郎中将を迎へた。戦艦はいつしか洗はれて、緑の風に上海の高く軍艦旗ははためく、新生支那の建設を見守るが如く。

「まあ夏が来たな。去年の夏の洗濯に、あいつは耐つたシャボンを取りに行つて怪我をして来たか、今頃はどうしてるかな」黄浦江上浮城の甲板に陳列されかきヤツの船艦旗が早くも一年に迫るあの日の思ひ出にゆらく。



3



海彼の方

波濤を蹴る英米海軍

一九三〇年に締結されたロンドン軍縮条約は一九三六年で期限が切れ、世界は再び無條約時代に入った。然し、帝國海軍の堅持する他國を脅かさない、他國に侵略されないといふ根本の考へは少しも變らないのに、今年三月ロンドンに開かれた英米佛三國海軍専門委員會は、「他國が制限外の軍艦を造つてゐる」といふ點方もない浮説を理由にしてエスカレートした條項を適用することに決めて終つた。かうして列強は一齊に未曾有の大軍艦豫算を以て大艦巨砲主義の新造艦のスタートを切りつゝある。

もう、世界七洋いづこの大海上にも平和の波は見られない。東亞の國々、われわれは、世界に誇るべき海軍力を以てして、今直ぐに國防に不安を感ずるやうなことはないとはいへ、今更、ますます海軍の擴きに注意を拂ひ「來らざるを待つこと」を待たざるの準備を完成することをおぼれてはならない。

(「週報」第七十一號所載「建艦通關問題と帝國海軍軍備」参照)

1. 2. 米海軍は去る三月十四日から六週間に亘り、太平洋上で壯烈な立體大演習を展開した。しかも、今度の大演習は従来の防禦作戦をすて、積極的進軍作戦の態をとるものとして即ち注目される。同演習の作戦第十九號進行中の1. 航空母艦・2. 戦艦

3. 最近の大西洋上の英艦隊大演習に参加したリヴェンチ號の大高射砲、乗員は毒ガス空襲に備へ、防毒マスクをつけて作業中である。



踏む大地
漲る力

國民精神總動員

鐵道省

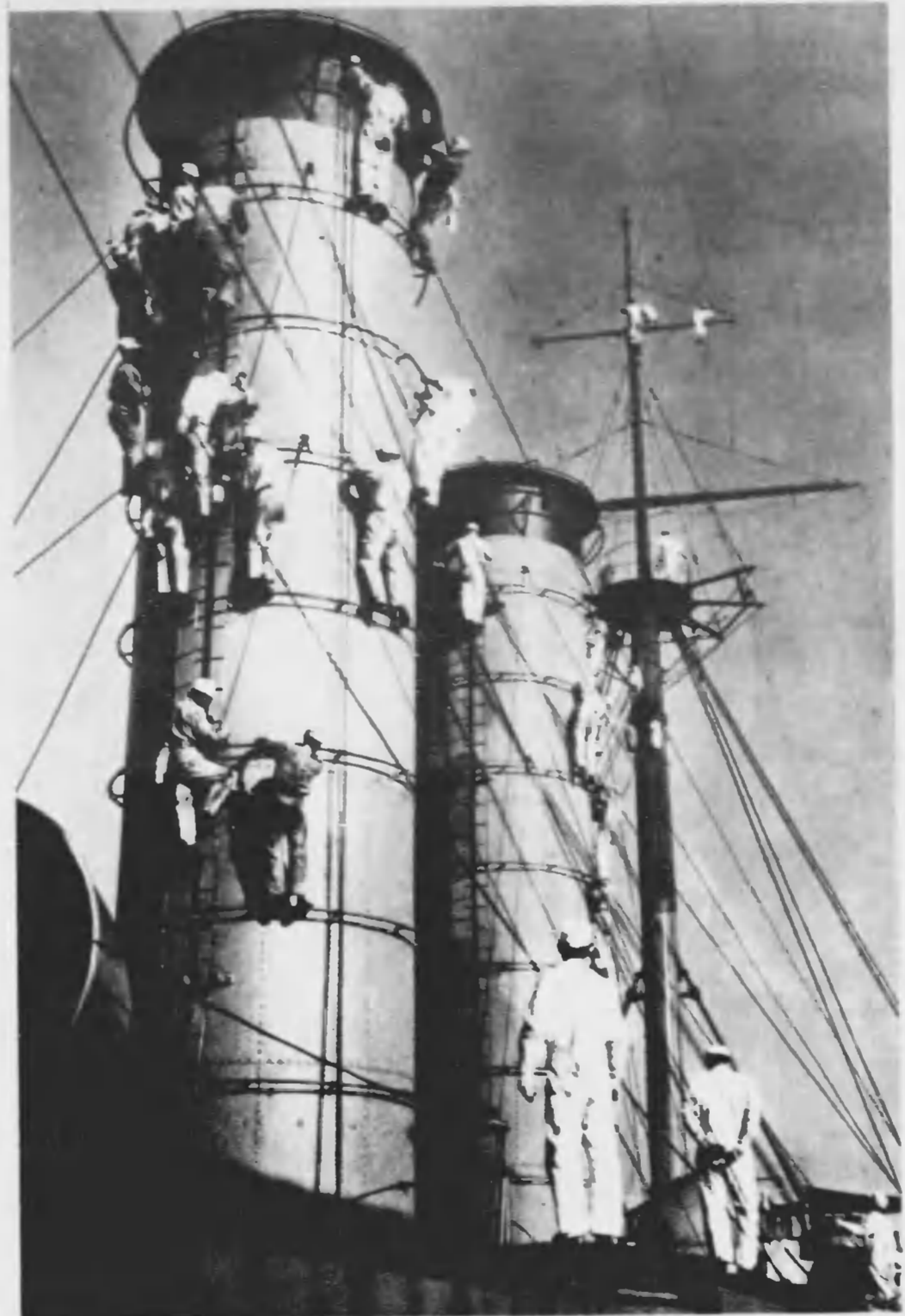


下の練習艦隊

今年練習艦隊「新子」一八隻、兩艦隊
本朝下に乗りこむ研究學生を乗せて四月六
日午前十時横須賀港を出帆したが、「こ
の」艦隊は、内海を航行するに
際して、特に本朝へ意をたのむのである。

♪ 勇壯な望遠鏡張訓練
内地巡視は終へた。
艦々懐れの遠洋航海だ
何しろ晴れの場所に出るのだ。望遠鏡もマストもきれいに磨きかへてわれらの艦も他所行きの仕事をしてやらねばならぬ。

♫ 帝國の海の廣りを以前に懐の懐れの
大津に果立つ日、それは海軍士官にとつて生涯忘れられぬ感激の日であらう。きふまでの生徒服はうれい少尉候補生服、そして、いままで海軍兵學校で、海軍理學校で、或は海軍砲兵學校で修練した法術を實地に活用する。練習艦隊がこの晴れの候補生を遣へて来て来た。陸上から海上勤務へ、風爽とスカートを切る我が子を、兄を送る目頭に感激の輝が光る。



所 込 申	價 定	昭和十三年五月二十五日印刷發行
郵行	一ヶ月部 一十錢	印刷所 大日本印刷株式會社
郵行	一ヶ年(前金) 四圓八十錢	東京市牛込區市谷 加賀町一ノ二番地
郵行	一ヶ年分未滿配送希望の方は一割十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい	東京市牛込區市谷 加賀町一ノ二番地
郵行	高價運報配送部	東京市牛込區市谷 加賀町一ノ二番地
郵行	全國各地官報販賣所	東京市牛込區市谷 加賀町一ノ二番地
郵行	東都書籍株式會社	東京市牛込區市谷 加賀町一ノ二番地
郵行	各地新聞販賣所	東京市牛込區市谷 加賀町一ノ二番地
郵行	寫真材料店	東京市牛込區市谷 加賀町一ノ二番地

表紙(海軍新聞)	日 露 海 軍	若鷲の羽ばたき	精悍わが陸軍	新司令長官	海軍の彼方彼方	下等練習艦隊
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省
特	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省

写真週報 昭和十一年五月十一日 第... 昭和十一年五月二十日発行 第十五號

マツダ真空管



二割明るく
二割のお徳



新マツダランプ

(本書の大きさは横切A4・「倍率」倍判)